

# 考古学セミナー開催のお知らせ

県立歴史館では、長野県考古学会との共催で、考古学セミナーを開催します。

今回は近年の新たな調査・研究成果を中心に、長野県内の古墳時代研究に焦点を当てます。

午前には、上伊那地域2例目の前方後円墳の可能性が示唆されている伊那市老松場1号古墳や、出土資料の再整理によって銀象嵌装飾大刀や飛鳥寺塔心礎出土挂甲（小札甲一鎧）と類似した挂甲が出土した諏訪市小丸山古墳の報告を行います。午後には、新たな調査・研究成果を踏まえた講演会やミニシンポジウムを行います。ふるってご参加ください。

## 記

1 日 時 平成30年3月17日（土）10時30分～15時00分

受付 10時00分～

2 場 所 長野県立歴史館 講堂

3 日程及び内容

(1) 報告 10時30分～12時00分

① 「伊那市老松場古墳群第1次調査報告 ―新たな前方後円墳の発見か―」

講師：伊那市創造館学芸員 濱 慎一 氏

② 「小丸山古墳出土品の再調査成果と諏訪地域の古墳」

講師：諏訪市教育委員会主任 児玉利一 氏

(2) 講演 13時00分～14時20分

「古墳時代研究における飯田古墳群の位置」

長野県考古学会長 小林正春 氏

(3) ミニシンポジウム 14時30分～15時00分

「最新のシナノの古墳時代像」 進行：当館考古資料課長 西山克己

登壇：上記3氏

お問い合わせ先

長野県立歴史館考古資料課 電話 026-274-3992